

## 2018年度事業および決算報告について

こくみん共済 coop 〈全労済〉(全国労働者共済生活協同組合連合会 代表理事理事長：中世古 廣司)は、2019年8月27日(火)、こくみん共済 coop ホール/スペース・ゼロ(東京都渋谷区)におきまして、「第130回通常総会」を開催し、2018年度計画経過報告、および2019年度計画設定などの諸議案を採択し決定いたしました。

つきましては、2018年度事業・決算の概要について報告いたします。

※本資料の数値は、四捨五入して表記しています。

## I. 2018年度の取り組みの概要

2018年度は「New-Zetwork」(2018年度～2021年度中期経営政策)の初年度として、次のとおり取り組みをすすめました。

## 1. 大規模災害への対応

2018年度は多くの大規模災害が発生し、被災された組合員・契約者の皆さまへの対応を最優先課題として取り組みました。

## ■ 共済金のお支払いに向けた取り組み

「大阪北部地震」や最も大きな被害が生じた「台風21号」など、2018年度は多くの自然災害が発生しました。一連の自然災害による被災受付は合計164,918件(2019年5月31日現在)に達し、これは東日本大震災発生から1年経過した時点の受付件数を超える過去最大規模の被災受付となりました。

全国から、のべ約4千名の職員を派遣し、被災された組合員に一日も早く共済金をお届けするために、全力を傾けて取り組みをすすめました。

## ＜被災受付・共済金等支払状況(2019年5月31日現在・住宅損害)＞

	被災受付件数	支払金額合計※
大阪北部地震	14,138件	54.4億円
7月豪雨・台風7号	6,660件	107.8億円
台風20号	4,665件	10.8億円
台風21号	86,394件	261.5億円
北海道胆振東部地震	4,073件	12.2億円
台風24号	46,219件	109.8億円
台風25号	2,769件	5.7億円
合計	164,918件	562.2億円

※支払金額合計：火災共済(地震による損害は地震等災害見舞金)、自然災害共済、慶弔共済

## ■ 今後の改善に向けた取り組み

今回の大規模災害対応をふまえ、現在、早急に対応すべき課題と抜本的な見直しを要する課題に仕分けし、被災受付拠点・集中支払拠点の拡充など支払業務の改善に向けた対応策については、早急に対応すべき課題として取り組みをすすめています。

## 2. 新ブランド「こくみん共済 coop」の設定

当会の活動や本質を、わかりやすく、広く社会へ発信し、組合員や社会から親しみをもっていたため、新ブランドとして「こくみん共済 coop」を設定しました。正式名称「全国労働者共済生活協同組合連合会」、略称「全労済」は変えず、新しい姿を表す愛称として2019年6月から使用を開始しています。

## 3. Zetwork スタイル（「お役立ち」発想と「共創」活動による新しい事業と運動）に向けた主な取り組み

- (1) マイカー共済の改定を2019年1月に実施し、衝突被害軽減ブレーキ（AEB）割引の新設、「6等級・前契約なし」の新車割引の割引率の拡大、マイカー共済ロードサービスの拡充等を行いました。
- (2) マイカー共済改定と合わせて「7才の交通安全プロジェクト」を展開し、掛金見積もり数に応じた横断旗の寄贈、子どもと親の安全意識を高めるデジタル絵本のホームページでの公開を行いました。
- (3) ペーパーレスによる加入・変更手続きの拡充や、タブレット端末による訪問先での契約照会を可能とするシステム機能追加などを2019年5月に行いました。
- (4) お役立ちと共創を実践し、事業と運動の担い手となる「人財」を育成・開発する機関として、2019年4月に『人財アカデミー』を発足させました。

# II. 事業および決算の概況

## 1. 事業の概況

契約高は759兆円、受入共済掛金は5,723億円、契約件数は3,120万件となりました。

なお、契約件数については、自然災害共済が2.3万件増加したほか、2019年1月に商品改定したマイカー共済が2.1万件増加しました。

一方、生命系共済、火災共済、交通災害共済が前期比で減少しました。

## 2. 損益の概況

### (1) 経常収益

経常収益は、6,748億円（前期比69億円減）となりました。このうち共済掛金等収入は5,856億円（同25億円減）、資産運用収益は519億円（同7億円減）となりました。

### (2) 経常費用

経常費用は、6,124億円（前期比221億円増）となりました。このうち支払共済金は3,594億円（同483億円増）となりました。

### (3) 資産運用

資産運用純益は500億円（前期比8億円減）で、運用利回りは1.46%（同0.05ポイント低下）となりました。

### (4) 経常剰余金

経常剰余金は624億円（前期比290億円減）となりました。

特別損失の一部として、保有資産の価格変動リスクに備えるため、価格変動準備金を85億円

計上し、税引前当期剰余金は535億円（同291億円減）となりました。

#### （5）割戻金

組合員（契約者）への割戻金の総額は362億円（前期比2.6億円増）となりました。

### 3. 財務の概況

#### （1）総資産

総資産は、3兆8,566億円（前期比434億円増）となりました。このうち運用資産は、3兆4,959億円（同350億円増）となりました。

#### （2）負債

負債は、3兆3,972億円（前期比227億円増）となりました。このうち、共済契約準備金は、追加責任準備金の積み増しを行ったことなどにより3兆2,240億円（同224億円増）、価格変動準備金は755億円（同85億円増）となりました。

#### （3）純資産

純資産は、4,593億円（前期比207億円増）となりました。このうち会員資本は、4,367億円（同133億円増）となりました。

### 4. 主な経営指標について

#### （1）修正自己資本

自己資本が218億円増加したことに加え、価格変動準備金の増加により、修正自己資本は9,452億円（前期比301億円増）、修正自己資本比率は24.5%となりました。

#### （2）基礎利益

費差益は5億円、利差損は17億円、危険差益は1,142億円となり、基礎利益は1,130億円（前期比513億円減）となりました。

#### （3）支払余力比率

リスクの合計額は、資産運用リスク相当額の増加などにより23億円増加しましたが、諸準備金の積立などにより支払余力総額が493億円増加したため、支払余力比率は1,810.1%（前期比42.1ポイント増）となりました。

#### （4）実質純資産額

実質純資産額は、有価証券の含み益が増加したほか、自己資本や資本性を有する諸準備金の積み増しを行ったことなどから、1兆7,666億円（前期比936億円増）となりました。

以上

全労済から  
「こくみん共済coop」へ

たすけあいの輪をむすぶ